令和6年度学校評価（児童・保護者・職員自己評価アンケート）の結果について

千葉市立千城台東小学校

学校教育目標 「豊かな個性をもち、たくましく生きる子どもの育成」
～夢に向かって チャレンジ 東っ子～

〈表中の数字について〉

とてもそう思う→4点 まあそう思う→3点 あまりそう思わない→2点 全くそう思わない→1点として、全体の回答の平均値を表したものです。

【1】児童アンケート

<Ⅰ やさしい子>

評価項目	児童			保護者			職員		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
① 友達を大切にしていますか	3.7	3.6	3.6	3.3	3.4	3.4	2.8	3.6	3.0
② 学級でよい友達関係ができていますか	3.5	3.4	3.5	3.2	3.2	3.4	3.5	3.3	3.2
③ 友達となかよく力を合わせて生活していますか	3.7	3.5	3.5	3.2	3.3	3.3	2.9	3.1	3.2
④ 児：違う学年の友達となかよく遊んでいますか 職：なかよし活動は、人間関係作り成果をあげている	3.1	3.1	2.9	職員への質問			3.0	2.8	3.4

<Ⅰ やさしい子>

平均点が3.5点以上と大変良好な数値が4項目中3項目であった。保護者・職員とも概ね良好な数値であった。特に「友達を大切にしている」については、道徳教育や日頃の学級経営の成果と捉えている。90%以上の児童に肯定的な回答が見られたが、そうでない10%の児童への丁寧な関わりに目を向けていきたい。学校生活の基盤である友人関係については、今後も学校と家庭が密に連絡を取り合い、情報を共有していきたいと考えている。また、いじめ等に対する早期発見・早期対応はもちろん、児童の成長を長期的に見据え、継続的な支援による未然防止にも力を入れていきたい。④「違う学年の友達となかよく遊んでいますか」については、なかよし活動をより一層充実し、学校全体で学年を超えた関わりに対する意識を高めていきたい。

<Ⅱ かんがえる子>

評価項目	児童			保護者			職員		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
① きまりを守り、良いことと悪いことを判断して行動していますか	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3	3.4	3.0	2.9	3.1
② 児：学校の勉強は楽しいですか 職：学ぶ意欲を引き出し、学ぶ楽しさを味合わせる学習指導に努めた	3.3	3.2	3.1	2.9	2.9	3.0	3.0	3.4	3.5
③ 児：学校の勉強はよくわかりますか 職：わかりやすい授業を心掛け、工夫や改善に努めた	3.4	3.3	3.2	2.8	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5
④ 児：本を読むことは好きですか 職：読書週間が身につくように努めた	3.3	3.0	2.8	2.7	2.7	2.6	2.8	2.6	3.0
⑤ 問題解決的な学習活動や学習を取り入れるなど指導方法の工夫に努めた	職員への質問			職員への質問				2.6	3.4

<Ⅱ かんがえる子>

平均点3.1点以上と概ね良好な数値が4項目中3項目であった。保護者・職員ともやや良好な数値であった。いずれの項目も昨年度より若干の平均点低下が見られるが、昨年度同様に学年が上がるにつれて低い評価になりがちである②「学校の勉強は楽しいですか」③「学校の勉強はよくわかりますか」について、肯定的な回答をする高学年の割合が高い結果であった。これは、主体性の向上に主眼を置いた本校の校内研究の成果とみることができると考えられる。この部分を大切にしながら今後も授業改善、指導に工夫を加えながら進めていきたい。④「本を読むことは好きですか」については、保護者・職員ともに低い数値となった。千葉市学校教育推進計画でも「読書活動の充実」が挙げられているように、千葉市として取り組むべき課題である。図書の時間を大切にしながら、本に触れる機会を確保し、読書活動の充実を図っていきたい。

<Ⅲ たくましい子>

評価項目	児童			保護者			職員		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
① 進んで体力づくりに取り組んでいますか	3.3	3.2	3.2	2.7	2.8	2.9	2.9	2.7	2.8
② 交通安全に毎日気をつけて生活していますか	3.6	3.4	3.5	3.3	3.3	3.3	3.1	3.1	3.1
③ 目標や夢に向かって粘り強く努力していますか	3.4	3.3	3.2	2.7	2.8	2.9	3.1	3.1	3.4

<Ⅲ たくましい子>

平均点3.2点以上とすべての項目で概ね良好な数値であった。保護者・職員とも同様の結果であった。よりよい運動習慣を身に付けていけることができるように、運動の楽しさを知ることができる活動を計画的に実施していきたい。楽しく体を動かすことを柱としながら、練習を重ねることのできるようになる喜びも感じることができるようにしていきたい。③「目標や夢に向かって粘り強く努力していますか」については、令和6年度子どもたちに頑張ってもらいたいこととして伝えたことの一つであった。今後もあらゆる機会を利用し、目標をもって、継続して努力していく姿勢が育つようにしていきたい。

<IV 家庭・地域での生活>

評価項目	児童			保護者			職員		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
① 児:早寝・早起き・朝ご飯の習慣が身についていますか 職:早寝・早起き・朝ご飯の指導に努めた	3.2	3.1	3.1	2.9	3.0	3.1	2.9	3.0	3.1
② 児:家で学習する習慣が身についていますか 職:家庭学習が習慣化するように努めた	3.1	3.1	3.1	2.7	2.8	2.7	2.7	2.8	2.7
③ 児:家庭で進んでお手伝いをしていますか 職:お手伝いの励行など、何かの折に話したり促したりした	3.1	3.1	2.9	2.7	2.9	2.8	2.7	2.9	2.8
④ 学校は、地域や家庭と連携をとって教育を進めていると思いますか	保護者への質問			2.9	3.0	3.0	保護者への質問		

<IV 家庭・地域での生活>

平均点3.1点以上とやや良好な数値が3項目中2項目であった。①「早寝・早起き・朝ご飯の習慣が身についていますか」では、低学年と高学年で大きな差はみられなかった。その一方で、②「家で学習する習慣が身についていますか」については、高学年で肯定的な回答をした割合が低学年と比較し13%低い結果となった。保護者も肯定的な回答をした割合が60%を切っている。家庭学習習慣の定着は、基礎・基本の学力の定着と関係誠意が高いことから、学校として今一度統一した方向性を検討したい。また、千葉市ではギガタブの家庭学習での使用を推進している、学校としても使用を検討していく必要がある。

<V 合言葉 み・そ・あ・じ>

評価項目	児童			保護者			職員		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
① 身(み)だしなみなどに気をつけて生活していますか	3.4	3.4	3.3	3.1	3.1	3.1	2.9	3.4	8.0
② 部屋の整頓や(そ)うじなど、自分できちんとしていますか	3.2	3.1	3.3	2.5	2.4	2.4	3.0	3.1	3.0
③ おはよう、(あ)りがとうなど、元気なあいさつができていますか	3.4	3.4	3.4	3.1	3.3	3.3	2.8	3.0	3.0
④ 時間(じかん)を大切に、規則正しい生活をしていますか	3.3	3.3	3.3	2.7	2.9	3.0	2.9	3.1	3.1

<V 合言葉 み・そ・あ・じ>

平均点3.3点以上とすべての項目で概ね良好な数値であった。保護者・職員ともやや良好な数字であった。これらの項目は学校生活における基本的な生活の約束事を、子どもたちの中に定着させたいと日々取り組んでいる。特に③「おはよう、ありがとうなど、げんきなあいさつができていますか」については、令和6年度子どもたちに頑張してほしいこととして伝えたことの一つであった。「温かな声掛けと挨拶」ができていますかと、各種集会等で1年を通して話をしてきた。保護者からも高い評価があり、来年度もこの部分を軸に、子どもたちの意識がより一層高まるよう指導を継続していきたい。

<VI その他の項目>

評価項目	児童			保護者			職員		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
① 児・保:楽しく学校生活を送っていますか 職 :楽しく学ぶことができる学級づくりに努めた	3.6	3.4	3.4	3.3	3.4	0.1	3.1	3.4	4.0
② 児 :先生に何でも相談できますか 保 :学年だより学校だより、学校HP等で、学校や学級の状況が家庭に伝わっている	3.1	2.9	2.9	3.2	3.2	3.2	児童・保護者への質問		
③ 児 :学校では、安心・安全に過ごすことができますか 保・職:子どもの健康や安全、事故防止のために配慮している	3.5	3.4	3.4	3.1	3.3	3.3	3.5	3.4	8.0
④ 児 :先生はあなたの頑張ったことをほめてくれますか	3.5	3.3	3.3	児童への質問			児童への質問		
⑤ 児 :あなたは自分ことが好きですか 保 :お子さんの自己肯定感についてどう感じていますか	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	0.2	児童・保護者への質問		

相談する相手は複数選択してもよいとした。 SC:スクールカウンセラー 数字の単位は(人)		担任	学年の先生	学年の先生外の先生	SC	友達	家族	その他	相談しない
⑥	保 :お子さんの悩みや相談したいことがあった時は、主に誰に相談していますか	116	2	6	6	/	/	91	14
	児 :悩みを誰に相談しますか	28	4	4	2	67	92	8	37

<VI その他の項目>

平均点3.3点以上と概ね良好な数値が5項目中3項目であった。3項目とも全学年で大きな差はなく90%程度肯定的な回答が見られた。学校が子どもたちにとって安全な場所であり、子どもたちが安心して通える場所であることは学校としての大きな使命である。今回の結果が維持・向上できるよう家庭と予防的な見地で協力を進めていきたい。⑤「あなたは自分のことが好きですか」については、学校でも家庭でも意識的に子どもたちの良い点に目を向け言葉がけをすることで、子どもたちの意識をより一層高めたいよう努力が必要である。

<まとめ>

今回記載した内容は、アンケート結果を分析したものの一部です。子どもたちからの回答は、学年別・学級別に丁寧に看取り、今後の指導改善に役立てて参ります。また、保護者の皆様の思いを受け止めながら来年度の教育課程の編成に生かしていきたいと思っております。